

第67回北海道公立小中学校事務研究大会

胆振大会

第2分科会

—別冊資料—

【石狩支部】

保護者負担分学級費調査

H28年6月23日学校間連携会議

恵庭市では、H25年度の就学援助費(学用品の一部)の支給方法の変更を機に「学級活動費」は児童生徒(保護者)からは徴収しない(できない)という考え方が明確になり、各学校で学校徴収金の決定にいたるプロセスに事務職員として積極的に関わることを確認しました。(H27年度石教研専門部会第二次研究協議会恵庭市のレポートから抜粋)

学校間連携会議ではそれ以降、各校の「学級活動費」の徴収状況について調査を継続しています。今年度も下記の内容で行いますので、ご協力をお願いいたします。(入力締め切り:7月5日<火>)

* 本年度の学校徴収金(保護者負担分)のうち、「学級活動費」や「学級費」などの名目で集めている額を記入してください。(児童・生徒1人あたりの額)

* 「学級活動費」や「学級費」などの名目で集めている額がない場合は0と記入してください。

【普通学級】

学校名/学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
A小	0	0	0	0	0	0	
B小	0	0	0	0	0	0	
C小	0	0	0	0	0	0	
D小	0	0	0	0	0	0	
E小	0	0	0	0	0	0	
F小	0	0	0	0	0	0	
G小	200	200	200	200	200	200	
H小	0	0	0	0	0	0	
I中	380	380	380				
J中	340	340	340				
K中	0	0	0				
L中	0	0	0				
M中	300	300	300				

【特別支援学級】

学校名/学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
A小	0	0	0	0	0	0	
B小		0	0		0	0	1,4年在籍無し
C小	0			0	0		2,3,6在籍無し
D小	0	0	0	0	0	0	
E小							支援学級無し
F小	0	0	0	0	0	0	
G小	200		200	200	200		2,6年在籍無し
H小		0	0	0	0	0	1年在籍無し
I中	1300	1300	1300				
J中	0	0					
K中	0	0	0				
L中	0	0	0				
M中	0	0	0				

資料②

調査1 小学校集計

2016年度の予算要望 学級費の公費化に関わる調査1-1

1、児童生徒一人当たりの公費消耗品費

公費消耗品費の内、児童生徒数と連動しない固定的経費を差し引いた金額で、一人当たりの公費消耗品額を出します。

学校名	公費消耗品額①	校舎管理消耗品	刊行物	教科用	その他1	小計②	①-②
A小学校	3,319,000	94,808	80,912	50,118	368,066	593,904	2,725,096
B小学校	2,323,998	351,987	78,180	101,906	430,336	962,409	1,361,589
C小学校	2,786,505	230,962	78,610	99,088	643,360	1,052,020	1,734,485
D小学校	2,497,000	39,007	64,200	480,545	190,949	732,708	1,764,292
E小学校	3,702,000	135,615	72,180	138,249	708,086	1,054,130	2,647,870
F小学校	2,141,000	76,565	64,200	74,539	73,025	288,329	1,852,671
G小学校	1,944,000	79,298	88,560	83,891	210,061	461,810	1,482,190
H小学校	1,403,000	102,118	25,080	138,595	295,624	561,417	841,583

2、公費消耗品費から固定的経費を除いた児童生徒一人当たりの消耗品費

学校名	固定的経費除算後の金額	児童数	一人当たり
A小学校	2,647,870	983	2,694
B小学校	2,725,096	765	3,562
C小学校	1,734,485	573	3,027
D小学校	1,764,292	567	3,112
E小学校	1,361,589	363	3,751
F小学校	1,852,671	352	5,263
G小学校	1,482,190	235	6,307
H小学校	841,583	107	7,865

*小数点以下切捨て

資料③

調査1 中学校集計

2016年度の予算要望 学級費の公費化に関わる調査1-1

1、児童生徒一人当たりの公費消耗品費

公費消耗品費の内、児童生徒数と連動しない固定的経費を差し引いた金額で、一人当たりの公費消耗品額を出します。

学校名	公費消耗品額①	校舎管理消耗品	刊行物	教科用	その他1	小計②	①-②
I 中学校	3,373,000	45,968	97,980	667,433	136,326	947,707	2,425,293
J 中学校	3,054,000	212,132	72,180	534,219	98,501	917,032	2,136,968
K 中学校	2,107,000	74,805	72,180	486,178	109,082	742,245	1,364,755
L 中学校	1,911,000	83,996	72,180	410,945	0	567,121	1,343,879
M 中学校	2,610,000	129,553	103,554	211,707	168,788	613,602	1,996,398

2、公費消耗品費から固定的経費を除いた児童生徒一人当たりの消耗品費

学校名	固定的経費除算後の金額	生徒数	一人当たり
I 中学校	2,136,968	656	3,258
J 中学校	2,425,293	560	4,331
K 中学校	1,996,398	361	5,530
L 中学校	1,364,755	251	5,437
M 中学校	1,343,879	224	5,999

*小数点以下切捨て

4. 需用費及備品購入費の予算確保

(1) 需用費の確保

2017年度の予算要望 学級費の公費化に関わる調査

①必要とされる学級費

保護者負担となっている学級費(児童生徒1人あたり300円として算出)の総額と学校で(保護者負担軽減のため)一部公費支出した金額の比較です

学校名/学年	普通学級数	特別支援学級数	合計	児童生徒数(特支児童生徒含む)	学級費公費化に関わる必要額(学級費1人300円として算出)	2016年度学級費分として公費から支出した額	学級費分として必要な額
A小	22	4	26	727	218,100	0	218,100
B小	12	3	15	338	101,400	52,000	49,400
C小	29	4	33	985	295,500	50,000	245,500
D小	17	3	20	497	149,100	0	149,100
E小	6	0	6	107	32,100	71,000	-38,900
F小	18	3	21	589	176,700	11,750	164,950
G小	9	2	11	235	70,500	143,000	-72,500
H小	12	3	15	352	105,600	72,600	33,000
I中	15	3	18	526	157,800	78,400	79,400
J中	7	3	10	225	67,500	0	67,500
K中	20	3	23	703	210,900	0	210,900
L中	7	2	9	229	68,700	0	68,700
M中	10	3	13	347	104,100	0	104,100
合計	184	36	220	5,860	1,758,000	478,750	1,279,250

配分比率変更に関わる消耗品費の増減と実践交流

配分比率変更は学校規模にかかわらず、児童生徒1人あたりの公費負担消耗品額を均等に近づけることをねらいとしていましたが、小規模校の激減幅が大きく課題が生じています。
*記載の予算額は組換え前の当初配分予算です。

資料⑤

れた部分もありま

学校名	H27年度当初消耗品費	H28年度当初消耗品費	H27-H28児童生徒数の増減	増減 (H27年度比)	増額になったことで改善できた点、減額になったことで削減した点を挙げてください。	H29年度当初消耗品費	H28-H29児童生徒数の増減	増減 (H28年度比)	増額になったことで改善できた点、減額になったことで削減した点を挙げてください。
1 A小	3,384,000	3,473,000	-25	89,000		3,583,000	20	110,000	
2 B小	2,221,000	2,150,000	-22	-71,000	事務消耗品を削減、用紙代を削減 (配布から回覧へ)	2,160,000	-3	10,000	保健室関係消耗品・行事消耗品を削減
3 C小	2,660,000	2,713,000	-48	53,000	印刷機のインク・マスター代の節約、プリントフリーの活用	2,629,000	-27	-84,000	日常の印刷をプリントフリーに設定、インク・マスター・用紙代の節約
4 D小	3,875,000	4,335,000	-5	460,000	学級費の増額、プリントフリーの導入により、カラー印刷が多用でき、教育効果向上に努めることができた。	4,367,000	1	32,000	学級費の増額、プリントフリーの導入により、カラー印刷が多用でき、教育効果向上に努めることができた。
5 E小	1,441,000	1,269,000	6	-172,000		1,272,000	-4	3,000	
6 F小	2,750,000	2,958,000	61	208,000		3,024,000	1	66,000	
7 G小	1,895,000	1,758,000	-10	-137,000	半紙、画用紙などの用紙類、学級設営費および教材費を公費で充当することができた。	1,741,000	-14	-17,000	全体的な消耗品費の減額分の補てんと教材費等の公費からの充当ができた。
8 H小	2,205,000	2,185,000	26	-20,000	組替えで増額した分で穴埋めした	2,310,000	30	125,000	保護者負担軽減のための用紙の公費か(半紙等)に予算を回せた
9 I中	3,156,000	3,279,000	-33	123,000	学級費の減額	3,108,000	-45	-171,000	学級費の減額、一年生成績用ファイル学校負担
10 J中	2,075,000	2,009,000	-25	-66,000	学級減・生徒数減により消耗品費は減額になって厳しいが従前通り徴収せず公費化している。	1,898,000	-19	-111,000	学級減・生徒数減により消耗品費は減額になって厳しいが従前通り徴収せず公費化している。
11 K中	3,450,000	4,042,000	46	592,000	家庭学習ノートの公費支出、道徳(研究部課題)時使用のPPファイルを全校分公費購入。色画用紙ほか購入	4,118,000	1	76,000	学級費を40円減。学級費より支出していた教室用整理カゴ1年成分公費購入。家庭学習ノートの公費支出。
12 L中	1,969,000	1,962,000	6	-7,000	もともと足りない予算なので、印刷にかかる経費の捻出に苦労した	2,026,000	23	64,000	異動してきたばかりなので、今年度は公費負担できそうなところを先生方の意見を聞きながら探していきたい。
13 M中	2,505,000	2,510,000	-14	5,000		2,520,000	2	10,000	

保護者負担軽減の取り組みに関する調査【記入例】

恵庭市では平成27年度から予算の配分替えが可能になりました。これは消耗品予算の増額が困難な状況を少しでも改善し、「保護者負担軽減(公費化)」をすすめるための財源確保を目的としています。恵事協と市教委双方の協議によって市教委が判断いたしました。このことによって学年会計で徴収していた「学級費(用紙代・ファイル代など)」の一部または全額を配分予算で支出する取り組みが可能になりました。すでに学級費0円の学校も数校あります。

市教委も「子どもの貧困問題」を重視しており、事務職員の「保護者負担軽減(公費化)」の取り組みを理解し、予算の配分替えを導入した経緯があります。私たちは再度このことを確認し、H28年度の取り組みをすすめて行かなければなりません。そのために学校間連携会議では昨年度(H27年度)の状況を検証し、成果と課題を明らかにして交流したいと考えました。ついては平成27年度の予算執行状況について下記に回答をお願いいたします。転入の方は不明な部分は空欄で結構です。 月 日までに入力をお願いします。

(1) H27年度予算の配分替えに関わる調査(保護者負担軽減に活用した額の調査)

学校名()

予算科目異動元	予算科目異動先	異動額	保護者負担軽減(公費化)に支出した額	支出内容(できるだけ具体的に お願いします)	保護者負担軽減以外に支出した額	支出内容及び理由
印刷費	需用費	30,000	30,000	学校納入金のうち、学級費100円を負担(児童数363名のうち300名分)	0	
コピー使用料	需用費	10,000	6,300	学校納入金のうち、学級費100円を負担(児童数残り63名名分)	3,700	プリントフリー分支出(印刷代削減のため)

注1)「保護者負担軽減(公費化)に支出した額」が「異動額」を超えるときは、異動額と同額を記入してください。

資料⑦

平成 28 年度 学校の執行計画による配分替え一覧

(単位：千円)

学校名		A小	B小	C小	D小	E小	F小	G小	H小	I中	J中	K中	L中	M中	
需用費	消耗品費	347	339	224	59	110	0	110	143	250	0	60	51	82	
	印刷製本費	△ 28	△ 15	△ 45	△ 79	△ 15	△ 37	0	△ 64	0	0	△ 80	0	△ 68	
役務費	通信費	郵便料	0	10	10	0	△ 5	7	△ 10	△ 15	△ 10	10	0	0	0
		電話料	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0
	手数料	洗濯料	0	0	0	20	△ 3	30	0	0	0	0	20	0	0
委託料		△ 23	0	0	0	0	0	0	△ 37	0	0	0	0	0	
使用料及び賃借料		△ 296	△ 124	△ 100	0	△ 45	0	0	△ 214	△ 10	0	△ 20	△ 51	0	
原材料費		0	0	0	0	0	0	0	△ 13	0	△ 4	0	△ 10	△ 14	
備品購入費	教材費	0	△ 180	△ 89	0	△ 38	0	△ 100	200	0	0	0	10	0	
	器具費	0	△ 30	0	0	△ 12	0	0	0	0	0	20	0	0	

配分予算組替えによる保護者負担軽減（公費化）実践交流

資料⑧

	学校名	H28年度 消耗品費 組換え額	H28年度の実践（保護者負担軽減のために支出した内容と額を具体的にご記入ください）	H29年度 消耗品費 組換え額	H29年度の実践（保護者負担軽減に向けた実践または計画している取り組み（できるだけ具体的な内容と支出額をご記入ください）	備考
1	A小	347,000	学級消耗品費各学級5000円の予算措置を行っている。	326,000	学級消耗品費各学級5000円の予算措置を行っている。	
2	B小	339,000	108,900円（児童1人当たり300円）。教材費の一部（ファイル、画用紙、半紙）を公費化した	395,000	99,000円（児童1人当たり300円）。教材費の一部（ファイル、画用紙、半紙）を公費化した	
3	C小	224,000	教科用消耗品(画用紙、色画用紙、理科薬品)	150,000	教科用消耗品(画用紙、色画用紙、学級活動費)	
4	D小	59,000	H28学級費 220円×人数分	523,000	H29学級費 250円×人数分 教科消耗一部補助	
5	E小	110,000		47,000	ペン類、ノリなどは学校のものを使っている。使用後は全体のものとしてまた使っているため支出額は把握できないが父母負担は軽減されている。	
6	F小	0		431,000	画用紙、半紙と学級費的な項目の一部を公費化。定額制の廃止。	
7	G小	110,000	学級消耗品費（画用紙、半紙、その他学級設営費）73,970円	110,000	学級消耗品費（画用紙、半紙、その他学級設営費）60,000円（児童数減）	
8	H小	143,000	色画用紙26,825円、画用紙72,616円、半紙34,980円	156,000	色画用紙40,000円、画用紙30,000円、半紙34,980円、学級設営費60,000円、紙ファイル20,000円	
	小学校 合計	1,332,000		2,138,000		
9	I中	250,000	一年生学級費220円減額 6組200円減額 2,3年生100円減額し保護者の負担軽減になった。	250,000	各学年学級費80円減額 6組学級費900円減額 一年生成績用ファイル70円学校負担し、保護者負担軽減になった。	
10	J中	0	従前から学級費の徴収はせずに学級設営費として公費化している。	40,000	今年度も学級費の徴収はせずに学級設営費として公費化しているため消耗品費の減額は厳しい。	
11	K中	60,000	・家庭学習ノート56,980・色画用紙35,841・セロテープ6,912・道徳用PPフラットファイルA459,466・画鋸、プロッキー他	0	・家庭学習ノート21,025・教室用整理カゴ1年生分36,120・プロッキー8色17,388・布ガムテープ4,644・色画用紙・色上質紙他50,000	
12	L中	51,000	特にありません。単年度で異動では取り組みが困難である。	120,000	今年度はなし。次年度はフラットファイル（約4万円）を完全公費化する予定。	
13	M中	82,000	旅行的行事に係わるファイル等消耗品を保護者負担から市費負担へ。学級費対応の消耗品等市経理より一部購入。部活動消耗品購入。	267,000	行事に係わるファイル等の消耗品や医療費等を保護者負担から市費負担へ。保護者負担の実習費の減額。新年度準備などの学級費負担分を市経理より支出。部活動より借用している体育用品の補填。	
	中学校 合計	443,000		677,000		

電子黒板アンケート集計表 全体集計(271名/314名) 回収率86%

1、あなたは電子黒板を使ったことがありますか	ある	ない						ある	ない
	155	116						57%	43%
2、電子黒板を使った授業をする場合、次の中のどれを使いたいですか(複数可)	デジタル教科書	NHKforSchool	インターネット	書画カメラ	タブレット	市販ソフト			
	200	156	170	159	107	10			
3、あなたはデジタル教科書を使ったことがありますか	ある	ない						ある	ない
	81	190						30%	70%
4、デジタル教科書を使った授業をする場合、次のどれを使いたいですか(複数可) 《小学校》	国語	算数	理科	社会	書写	音楽	図工	生活	その他
	118	161	132	117	97	44	38	29	8
4、デジタル教科書を使った授業をする場合、次のどれを使いたいですか(複数可) 《中学校》	国語	数学	理科	社会	英語	音楽	美術	技術家庭	その他
	15	19	16	14	14	3	4	14	3
5、教室でPC・タブレットを使っていますか	毎日	よく使う	時々	使わない				使う	使わない
	27	55	106	83				69%	31%
6、その使用目的は、次のどれですか(複数可)	NHKforSchool	インターネット	資料提示	その他					
	101	99	148	16					
7、教室専用(教師用)のPC・タブレットは必要だと思いますか	必要	必要ない						必要	必要ない
	253	18						93%	7%
8、電子黒板の導入後、ぜひ導入してほしいICT機器等はどれですか(複数可)	デジタル教科書	教室専用PC	教室専用タブレット	DVDブルーレイ録再機	その他				
	206	175	142	45	9				

電子黒板アンケートについての考察

2016/7

- 1、実施日時 7月下旬
2、対象者 市内全小中学校の教員(管理職・養教除く)
3、回収率 小学校92%(177名/192名)中学校77%(94名/122名)全体86%(271名/314名)
4、考察

質問1 あなたは電子黒板を使ったことがありますか

小学校で65%、中学校で43%全体で57%の教員が電子黒板を使ったことがあると回答して
いて恵庭で電子黒板を導入しても使えない教員が多いのではという危惧が解消された。
また既に導入済みの他市町村から来た教員は恵庭での一刻も早い導入を望んでいる。

質問2 電子黒板を使った授業をする場合、次の中のどれを使いたいですか(複数可)

小学校・中学校ともデジタル教科書が一番希望が多かった。電子黒板を使った授業をする
上でデジタル教科書ははずせないコンテンツであることが分かった。管内の他市町村でも
導入が急速に進んでいて、既に導入済みの市町村から来た教員からは、一刻も早い導入
を希望する意見も多く見られた。また、恵庭市で導入済みの無線LAN、書画カメラを利用
した授業も希望が多いことが分かった。

質問3 あなたはデジタル教科書を使ったことがありますか

小学校で38%、中学校で15%、全体で30%の教員がデジタル教科書を使ったことがあると
回答していて、特に小学校でデジタル教科書の経験者が多いことが分かった。

質問4 デジタル教科書を使った授業をする場合、次のどれを使いたいですか(複数可)

小学校では主要4教科(国・数・理・社)と書写の希望が多いことが分かった。
中学校は教科担任制なので各教科分散しているが、技術家庭の希望が多かった。

質問5 教室でPC・タブレットを使っていますか

小学校で72%、中学校でも64%が教室でPC・タブレットを使っていることが分かった。
現状では、職員室の校務用PCか私物のPC・タブレットを利用しているものと推察される。

質問6 その使用目的は、次のどれですか(複数可)

導入された無線LANを活用して教室でインターネットやNHKforSchoolを利用している人が
多かった。またPCを使ったパワーポイント等の資料提示も活用されていることが分かった。

質問7 教室専用(教師用)のPC・タブレットは必要だと思いますか

小学校で94%、中学校で93%、全体で93%の教員が教室専用(教師用)のPC・タブレットは必要
だと回答している。授業のたびに機械をセッティングするのではなく、スイッチを入れたらすぐ
に授業が出来るICT環境が強く望まれていることが分かった。

質問8 電子黒板の導入後、ぜひ導入してほしいICT機器等はどれですか(複数可)

デジタル教科書、教室専用PCの導入希望が多かった。今年度モデル校になった2校に導入
された電子黒板は単体ではその機能の大部分が発揮されず、パソコンを介してしかデジタル
教科書、インターネットやNHKforSchoolを利用できない。またタブレット端末の利用もパソコン
に入ったマスターシンクというソフトを使わないと出来ない仕様になっている。
授業で日常的に利用されるデジタル教科書、電子黒板を有効活用するために必須の教室
専用(教師用)のPCの導入が強く望まれていることが分かった。

電子黒板アンケート集計表 全体集計(268名/325名) 回収率86%

2017/7

1、あなたは電子黒板を使ったことがありますか	ある	ない						ある	ない
	175	93						65%	35%
2、電子黒板を使った授業をする場合、次の中のどれを使いたいですか(複数可)	デジタル教科書	タブレット	NHKforSchool	インターネット	書画カメラ	市販ソフト			
	213	127	133	160	143	23			
3、あなたはデジタル教科書を使ったことがありますか	ある	ない						ある	ない
	129	139						48%	52%
4、デジタル教科書を使った授業をする場合、次のどれを使いたいですか(複数可)小学校	国語	算数	理科	社会	書写	音楽	図工	生活	その他
	83	148	115	111	57	39	33	25	6
4、デジタル教科書を使った授業をする場合、次のどれを使いたいですか(複数可)中学校	国語	数学	理科	社会	英語	音楽	美術	技術家庭	その他
	13	27	24	16	19	7	8	10	4
5、教室でPC・タブレットを使っていますか	毎日	よく使う	時々	使わない				使う	使わない
	39	67	116	46				83%	17%
6、その使用目的は、次のどれですか(複数可)	NHKforSchool	インターネット	資料提示	その他					
	117	108	156	20					
7、教室専用(教師用)のPC・タブレットは必要だと思いますか	必要	必要ない	その他					必要	必要ない
	253	14	1					94%	5%
8、電子黒板の導入後、ぜひ早期に導入して欲しいのはデジタル教科書(主要教科)、児童用タブレット端末のどちらですか	デジタル教科書	教室専用タブレット	その他					デジタル教科書	教室専用タブレット
	198	67	3					74%	25%

1、教育の情報化に係るICT環境整備の充実に関する調査 電子黒板アンケートについての考察

- 1、実施日時 7月上旬
2、対象者 市内全小中学校の教員(管理職・養教除く)
3、回収率 小学校85%(172名/202名)中学校78%(96名/123名)全体82%(268名/325名)

4、考察

質問1 あなたは電子黒板を使ったことがありますか

小学校で72%、中学校で54%全体で65%の教員が電子黒板を使ったことがあると回答して
いて、市内の導入済校がまだ2校である事から管内での導入が進んでいることが伺える。
また既に導入済みの他市町村から来た教員は恵庭での一刻も早い導入を望んでいる。

質問2 電子黒板を使った授業をする場合、次の中のどれを使いたいですか(複数可)

小学校・中学校ともデジタル教科書が一番希望が多かった。電子黒板を使った授業をする
上でデジタル教科書ははずせないコンテンツであることが分かった。管内の他市町村でも
導入が急速に進んでいて、既に導入済みの市町村から来た教員からは、一刻も早い導入
を希望する意見も多く見られた。また中学校ではタブレットの要望も多いことが分かった。

質問3 あなたはデジタル教科書を使ったことがありますか

小学校で55%、中学校で36%、全体で48%の教員がデジタル教科書を使ったことがあると
回答していて、特に小学校でデジタル教科書の経験者が多いことが分かった。
ここでも、管内の他市町村での導入の影響が伺える結果となった。

質問4 デジタル教科書を使った授業をする場合、次のどれを使いたいですか(複数可)

小学校では主要4教科(国・数・理・社)と書写の希望が多いことが分かった。
中学校は教科担任制なので各教科分散しているが、主要5教科の希望が多かった

質問5 教室でPC・タブレットを使っていますか

小学校で85%、中学校でも79%が教室でPC・タブレットを使っていることが分かった。
校内LANの整備により、教室でのPC・タブレットの使用が大幅に増えていることが分かった。

質問6 その使用目的は、次のどれですか(複数可)

導入された無線LANを活用して教室でインターネットやNHKforSchoolを利用している人が
多かった。またPCを使ったパワーポイント等の資料提示も活用されていることが分かった。

質問7 教室専用(教師用)のPC・タブレットは必要だと思いますか

小学校で95%、中学校で93%、全体で94%の教員が教室専用(教師用)のPC・タブレットは必要
だと回答している。授業のたびに機械をセッティングするのではなく、スイッチを入れたらすぐ
に授業が出来るICT環境が強く望まれていることが分かった。
電子黒板は単体ではその機能の大部分が発揮されず、パソコンを介してしかデジタル教科書、
インターネットやNHKforSchoolを利用できない。またタブレット端末の利用もパソコンに入った
マスターシンクというソフトを使わないと出来ない仕様になっている。そして現状中学校では
教科担任制を理由に教室専用PCの設置が見送られているが、個人情報が入っている校務用
PCを授業の度に教室に持ち運びする危険性とせつかく導入された電子黒板が利用されない
のではという危惧がある。

質問8 電子黒板の導入後、ぜひ導入してほしいのは、デジタル教科書(主要教科)、児童用タブレット端末
どちらですか

小学校で81%、中学校で61%、全体で74%の教員がデジタル教科書(主要教科)の導入を望んで
いることが分かった。タブレット端末は小学校で19%、中学校で35%、全体で25%でした。
意見をみてもデジタル教科書は毎日、いろいろな教科で使え、児童・生徒に視覚的に理解させ
るのに大変有効なツールであり、算数・数学以外の教科の導入を強く望む声が多かった。
タブレット端末は、グループ発表、調べ学習等に有効なツールであるが、用途が限られており学校
に導入される台数、内蔵されるアプリの種類、その管理の難しさ等の課題も多く、デジタル教科書
の導入が急務であり、その後でタブレット端末の整備で良いのではないかという意見も多かった。

I 重点要求について

1、教育の情報化に係るICT環境整備の充実について《資料編 P1～6》

現在、ICT分野の技術革新はめざましく、教育分野への応用も急速に進んでいます。政府においても、総務省の「フューチャースクール推進事業」(ハード)、文部科学省の「学びのイノベーション事業」(ソフト)と21世紀を生きる子ども達に求められている「生きる力」「情報活用能力」を育むために、子ども達の学習や生活の主要な場である学校において、教育の情報化を推進する体制が取られています。また、次期の学習指導要領改訂では、アクティブラーニングの視点に立った「課題の発見・解決に向けた主体的・協同的な学び」を進める上でICTを活用することの重要性が示されています。

石狩管内においても近年、江別市、千歳市が相次いで電子黒板の全教室配備を実現しています。さらに千歳市では、小学校への主要4教科と書写のデジタル教科書、中学校についても5教科の導入が実現しています。そして江別市・北広島市でも昨年からのデジタル教科書の導入が進められています。電子黒板の一番の活用策はデジタル教科書の利用であり、その教育効果も広く認められているところです。

恵庭市においても、書画カメラの全教室配備、全校への校務支援システムの導入、全教室への校内無線LANの整備、電子黒板の小中モデル校への配備と順次、教育の情報化に取り組んでいただき深く感謝いたします。

しかしながら、文部科学省の「教育の情報化ビジョン」に示されている、全教室への電子黒板、教師用PC、タブレット端末、超高速無線LAN、デジタル教科書などの配備を実現するには、今後とも多額の費用がかかることが予想されます。あれもこれもではなく、各学校の実情を踏まえ、子ども達の学力向上を図るには何が大事なのかをしっかりと検証し、優先順位を決めて教育の情報化に取り組んでいかななくてはならないと考えます。

予算要望委員会では、石狩管内の電子黒板・デジタル教科書の導入状況を調査したり、恵機連と合同で職員を対象とした「電子黒板研修会」を開催し、市内全13校からの参加者のもと、モデル校の実践事例を交流したりして電子黒板の活用への理解を深めるとともに、自分の学校への導入に際しての問題点の洗い出しをしました。また、市内全校の教員を対象とした「電子黒板アンケート」も実施して、各学校の実態把握にも取り組みました。すでに電子黒板が導入された学校では、自校の教材費約180万円(2年間)でタブレット40台を購入した小学校や、市で導入して頂いた算数・数学のデジタル教科書だけでは不足なので、他教科のデジタル教科書を自校の教材費約86万円で購入した中学校の例もありました。

電子黒板導入に伴う多額の教材費支出は、小規模校では不可能です。数年毎の更新費用の負担も他教科へのしわ寄せが危惧され、学校単独での負担は非常に困難な状況です。

このような現状を考察した結果、子ども達の確かな学力、情報活用能力を育むのはもちろん、一斉学習、個別学習、協同学習のどの学習形態にも対応できて、既存の書画カメラ、整備された校内無線LANを最大限活用し、将来配備されるであろう児童用タブレット端末とも連動できる電子黒板の早期の全校全教室への導入を最優先に要望します。そして、電子黒板を活用した授業を進める上で欠かすことの出来ないデジタル教科書の算数・数学以外の主要教科の導入と中学校では整備されていない指導者用のパソコンをぜひ計画的に整備されることを強く要望します。